

第53回日本神経精神薬理学会 年会 一般演題採択結果

精神科分類

演題番号	登録番号	発表日	時間	発表者(敬称略)	所属機関名	演題名
P1-1	10004	9月7日 (木)	16:30~ 17:30	佐藤 正晃	北海道大院・医・神経薬理	遺伝要因および環境要因に基づいた異なる自閉スペクトラム症モデルマウスにおける社会記憶の異常
P1-2	10007			三好 耕	Dept. of Child Develop. and Molecular Bra. Sci., United Grad. Sch. of Child Develop., Osaka Univ.	The mechanism that regulates localization of G protein-coupled receptors to primary cilia
P1-3	10015			上條 諭志	Department of Neuropsychopharmacology, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry	Sex-specific expression of social communication deficits by transient inactivation of developing Purkinje neurons
P1-4	10017			藤飯 慎也	熊本大学大学院生命科学研究部 分子脳科学講座	LINE-1レトロトランスポゾン転移による精神疾患リスクと行動の個体差との関連
P1-5	10018			大石 久仁彦	日本たばこ産業株式会社	マウス強制水泳試験を用いたニコチン吸入曝露での行動解析
P1-6	10023			楠井 優香	富山大学大学院医学薬学教育部	覚醒剤メタンフェタミンによる記憶障害と側坐核ドパミンとの関連
P1-7	10025			奥田 桃子	熊本大学大学院生命科学研究部分子脳科学講座	EGF投与精神疾患マウスモデルにおけるLINE-1転移解析
P1-8	10027	9月8日 (金)	17:20~ 18:20	丸山 秀徳	住友ファーマ株式会社	統合失調症患者のLife Engagementに対するルラシドンの影響: JEWEL試験のpost hoc解析
P1-9	10029			丸山 秀徳	住友ファーマ株式会社	双極I型障害患者の抑うつエピソードに対するルラシドンの有効性: 不安症状の重症度別事後解析
P1-10	10030			佐藤 志保	東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野	ストレス負荷がベータヒドロキシ酪酸の産生に与える影響
P1-11	10032			松本 裕司	住友ファーマ株式会社	統合失調症患者におけるblonanserinテープの有効性、安全性、薬物動態の性別比較~治験データ~
P1-12	10039			柳田 悠太郎	Department of Molecular Brain Science, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University.	Identification of sex-associated blood cell-type-specific CpGs methylation using whole genome bisulfite sequencing data of Japanese subjects
P1-13	10043			下野 純	昭和大学医学部精神医学講座	GABA-BZ受容体作動薬からLemborexantへの変薬による長期睡眠効果の検討
P1-14	10044			安田 誠太	順天堂大学医学部精神医学教室	うつ病患者においてベンゾジアゼピン系薬剤はアミロイドβ代謝に影響を与えるか?
P1-15	10048	9月7日 (木)	16:30~ 17:30	赤坂 博	岩手医科大学脳神経内科・老年科	地域在住高齢者におけるうつと不眠への薬物介入と身体的フレイルの関連: the YAHABA study
P1-16	10050			吉川 貴子	Dept. of Dev. Neurosci., Grad. Sch. of Med., Tohoku Univ.	Sex differences of mRNA regulation in <i>Fmr1</i> knockout mouse during brain development
P1-17	10056			清水 健太郎	順天堂大学医学部附属越谷病院	中高齢のうつ病患者における血清アミロイドβオリゴマーと治療反応性に関する研究
P1-18	10058			米丸 ひなの	大阪大学蛋白質研究所	マウスにおける新生仔期NMDA受容体機能阻害が成体期の衝動性に及ぼす影響
P1-19	10063			古賀 裕作	熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座	アストロサイトを標的としたうつ病の病態・治療に関連する遺伝子の同定
P1-20	10066			廣瀬 仁樹	順天堂大学精神医学講座	治療抵抗性統合失調症における炎症性マーカーの有用性の検討
P1-21	10070			ベナー 聖子	国立環境研究所 環境リスク・健康領域	集団飼育コモン・マームセットのホームケージ内全自動認知・社会性行動評価
P1-22	10071	9月8日 (金)	17:20~ 18:20	伊藤 颯姫	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	統合失調症患者における薬物治療ガイドライン適合度と労働時間の関係
P1-23	10079			都 剛太郎	熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座	海馬アストロサイトに着目したうつ病における電気けいれん療法の作用機序の解明
P1-24	10082			松田 芳樹	公益財団法人東京都医学総合研究所 睡眠プロジェクト	うつ病モデルラットの社会的回避行動と睡眠異常に対するイミプラミンおよびフルオキセチンの抗ストレス効果
P1-25	10084			古田島 浩子	東京都医学総合研究所・精神行動医学研究分野・依存性物質	結節性硬化症に伴う自閉スペクトラム症への行動療法による効果とDNAメチル化解析
P1-26	10091			村田 雄介	福岡大学薬学部臨床薬物治療学	統合失調症モデルマウスにおける社会性の障害に対するプロナンセリンの有効性 ~用量別・投与期間別の検討~
P1-27	10008			那波 宏之	和歌山県立医科大学 薬学部	統合失調症モデル動物における無音安静時の聴覚皮質自発活動亢進
P1-28	10099			岩井 孝志	北里大学薬学部薬理学研究室	海馬–側坐核系の保護によるδオピオイド受容体逆作動薬 SYK–623の抗うつ作用
P1-29	10097	9月7日 (木)	16:30~ 17:30	Marco A Riva	Department of Pharmacological and Biomolecular Sciences University of Milan Milan (Italy)	Restorative properties of chronic lurasidone treatment on stress-induced motivational anhedonia in rats.
P1-30	10098			鶴飼 渉	札幌医科大学医学部神経精神医学講座	難治性精神疾患と周産期メンタルヘルス異常の病態・治療法探索: 漢方薬と幹細胞を用いた社会性/共感性の行動・脳神経回路変動の解析
P1-31	10109			兪 志前	東北大院・医・精神神経	腫瘍壊死因子 (TNF)-αを介したN-アセチルシステインのミクログリアに対する毒性
P1-32	10111			天田 直樹	大塚製薬株式会社 中枢神経疾患研究所	プレクスピプラゾールとセロトニン選択的再取り込み阻害剤の相乗的抗うつ様効果-マウス強制水泳試験における検討-
P1-33	10112			伊藤 賢伸	順天堂大学医学部精神医学講座	妊娠中バルプロ酸曝露による自閉スペクトラム症を手がかりとした創薬標的探索
P1-34	10114			窪田-坂下 美恵	順天堂大院・医・精神行動科学	ミトコンドリアカルシウム取り込みを標的とした新規気分安定薬の探索
P1-35	10115			長谷川 尚美	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部	EGUIDEプロジェクトの広がり大規模多施設研究によるreal-world study

演題番号	登録番号	発表日	時間	発表者(敬称略)	所属機関名	演題名
P1-36	10116	9月8日 (金)	17:20~ 18:20	前嶋 仁	順天堂越谷病院メンタルクリニック	クロザピンの血中濃度測定と治療反応および副作用出現の関連について
P1-37	10122			櫻井 航輝	大阪大・蛋白研・高次脳機能学	LC-MS/MSによる多発性硬化症モデルマウスにおける脱髄・炎症関連ニューロステロイドの探索
P1-38	10128			米田 貢	金沢大学・医薬保・保・リハビリ	ドーパミンD2受容体欠損マウスの3レバーオペラント課題の順序学習に対する学習スケジュールの影響
P1-39	10130			出利葉 健太	札幌医科大学医学部神経精神医学講座	発達期環境ストレス誘発統合失調症の病態生理の探索：抗精神病薬によるバルブアルブミン陽性細胞変異に焦点を当てた発症予防法開発を目指す試み
P1-40	10131			遠藤 俊裕	フェノバンス合同会社	精神神経疾患モデルマウスの大規模行動データ収集/解析プラットフォームの開発
P1-41	10138			毛利 彰宏	藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス	QPRTの欠損によるキノリン酸の増加はドーパミン作動性神経系における酸化ストレスを介した運動・認知機能障害を惹起する
P1-42	10140			山田 理沙	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部	統合失調症の精神病症状に対するセロトニン1A受容体部分作動薬の増強療法に関するメタ解析
P1-43	10141			9月7日 (木)	16:30~ 17:30	青峰 良淳
P1-44	10144	村野 友幸	研究推進本部 総合医科学研究部門 医科学研究センター システム医科学研究部門			統合失調症患者毎の生物学的異質性の新規評価手法
P1-45	10145	萩原 英雄	藤田医科大学 医科学研究センター システム医科学研究部門			成体マウス海馬における過成熟現象：過剰な生後発達および老化の促進に関連したトランスクリプトーム変化
P1-46	10146	堀江 純子	順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学			妊娠中SSRI投与が新生仔に与える精神行動変化と海馬神経細胞新生に関する研究
P1-47	10148	文東 美紀	熊本大院・医・分子脳科学			統合失調症患者死後脳におけるシングルセルレベルでのLINE-1挿入解析
P1-48	10149	川村 則行	医療法人社団法人基会 川村総合診療院			総合診療外来 (clinic of general practice) における精神疾患患者の血漿PEA濃度の推移に関する研究